

お天気かぞく

播磨 悠世

ぼくのかぞくは、お天気です。いつもあかるくてやさしいけど、たまにきびしいお父さんは、晴れときどきくもり。よくおこるおかあさんは、くもり。わらったりおこったり、いつもいそがしいもうとは、晴れのち雨。

まずは、お父さんのことを話します。

「絵や音がくは、人の心をあかるくできるよ。」

「わらっていたらいいことがやってくるよ。」

これが晴れのお父さん。いつもぼくを、色々なほうほうでげんきづけてくれます。

ですが、くもりになったらこうです。

「やるべきときは、やりなさい。」

「まわりをよく見て、おちつきなさい。」

びくっとするような、こわいかおでしずかにおこります。でもぼくは、そんなお父さんが大すきです。おこったあとに、かならずぎゅっとだきしめてくれるからです。

だから晴れのちくもりです。

つきは、おかあさんの話をします。

「早くごはんをたべなさい。」

「早くじゅんぴをしなさい。」

と、いつもおこります。そんなおかあさんの心は、くものようにかわりやすいです。

けれどぼくは、知っています。まい日おいしいごはんをつかってくれていること、そしてまい日ふくをきれいにしてくれ

ることを。ぼくの元気がないときは、くものようにやさしくつつんでくれます。

だからくもりです。

さいごはぼくのいもうとです。

「これは、ぼくのだよ。」

「それは、わたしの。」

ぼくたちはよくけんかをしします。でも、すぐなかなおりをして、「おにいちゃん大すき。」

「ぼくもだよ。」

と、けんかをしたり、なかなおりしたりをくりかえします。晴れたり雨がふったり、また晴れたり雨がふったり。

そんないもうとは、晴れのち雨です。

まい日まい日、ぼくのいえの天気は、かわります。どんなにすごい天気よほうでも、きつとあてることは、できません。そんなまい日がぼくは、とてもすきです。

「きょうはどんな天気かな。」

学校からいえにかえるのが、いつものしみです。

お父さん、いつも色々教えてくれてありがとう。おかあさん、いつもおいしいごはんをつくらせてくれてありがとう。

ぼくも、いもうとも、お父さんとおかあさんが大すきです。どんな天気でもいえにいるとほっとします。

「あしたの天気は、なんだろう。」
ぼくはおうちが大すきです。